

報道関係者 各位
プレスリリース

VTV ジャパン株式会社

VTV ジャパン、テレビ会議端末操作タブレットソフトウェア 「EazyTouch」の新バージョンをリリース

テレビ会議ソリューションの提供、販売を行うVTV ジャパン株式会社(代表取締役社長:栢野 正典 本社:東京都千代田区 以下、VTV ジャパン)は、自社開発製品のテレビ会議端末操作タブレットソフトウェア「EazyTouch(イージータッチ)」のバージョン 2.5 を本日リリースしました。

EazyTouch は統一された直感的に利用できる GUI とテレビ会議端末のマニュアルをタブレット上にまとめることで、ユーザをメーカーや製品毎に異なる面倒な操作から解放することを目的に開発されたカスタマイズ対応のテレビ会議操作タブレットソフトウェアで、下記の特長があります。

- ・簡略化された GUI とマニュアルを内蔵し、初めてテレビ会議に接するユーザも簡単に操作できる
- ・マルチベンダー対応で、拠点毎にテレビ会議製品が異なっても同じ様に操作可能
- ・更に企業特性や環境に合わせたカスタマイズが可能
- ・サーバで一元管理されるアドレス帳は、同一ネットワーク上のテレビ会議端末で共有できる
- ・ライセンスとタブレットを追加することで簡単に増設可能

2011年9月の発売以来、ユーザが求めるニーズをヒアリングしながら、案件ごとに様々なカスタマイズに対応してまいりました。また、ヒアリングの際にお聞かせいただいたご意見を反映させ、機能向上を行っています。

VTV ジャパンでは、更に快適なテレビ会議環境を実現できる製品の提供を行ってまいります。

製品の詳細やカスタマイズ例については、添付 PDF や下記の詳細ページをご参照ください。

- ・製品掲載ページ: <http://www.vtv.co.jp/product/solution/eazytouch.html>

【VTVジャパン株式会社について】VTVジャパン株式会社は、1995年設立以来、テレビ会議・Web会議システムの機器販売、およびレンタル、同システムに関する保守サービスに特化したテレビ会議のマルチベンダーです。全国各地、および海外のさまざまな法人・団体へ導入実績があります。また、自社独自開発によるテレビ会議カスタマイズソリューションの提供も行っています。



【本件に関するお問い合わせ先】

VTV ジャパン株式会社 マーケティング担当 : 大川、山田

電話:03-5210-5021 ホームページ:<http://www.vtv.co.jp/>

各リリースの記載内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

EazyTouch

テレビ会議端末操作タブレットソフトウェア

EazyTouch は専用サーバとタブレット端末で構成される、テレビ会議端末操作タブレットソフトウェアです。

EazyTouch 専用サーバは、タブレット端末からの制御信号をテレビ会議端末に送ると共に、IP ネットワーク上のテレビ会議端末にもタブレットと同じアドレス帳を配信し、全ての拠点でアドレス帳の共有を可能にします。



操作が簡単 (オンラインヘルプ付)

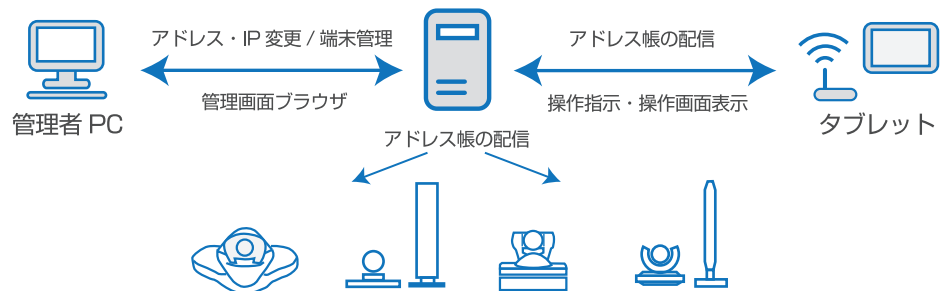
操作をイメージした大きなボタンをタッチしていただくだけで、テレビ会議が操作できます。操作のタイミングに沿ってタブレット画面が遷移するので、その場で必要なボタンだけを表示しますので、初めてテレビ会議を触る人でも簡単に操作できます。操作画面に沿ったオンラインヘルプを各画面毎に用意していますので、途中で操作がわからなくなっても、ヘルプを参照しながら操作を続けることができます。



共有アドレス帳

EazyTouch タブレットで共有されるアドレス帳は、同一ネットワーク上に設置されたテレビ会議端末にも配信できますので、EazyTouch タブレットを利用しない拠点でも、アドレス帳を共有することができます。

新規拠点追加や IP アドレスの変更が必要になっても、サーバ側のデータを更新するだけで、全社一括してアドレス帳を管理することができます。



マルチベンダー対応

シェア 2 トップのポリコム、シスコを始めとした、テレビ会議メーカーの主要製品に対応しています。

様々な製品が混在した環境でも、EazyTouch を利用すれば、同じ GUI 環境を提供することができ、利用者と管理者の双方の負担を減らします。

ライセンス販売

タッチパネル方式の操作機器は、1 拠点毎に多大なコストがかかっていました。

EazyTouch ならタブレットとライセンスを追加するだけで、すぐにタッチパネル式の GUI 環境を用意することができます。

カスタマイズが可能

EazyTouch はお客様のニーズに合わせて、拠点毎に操作機能を制限 / 追加したり、テレビ会議機器以外のオプション機器の操作を統合することができます。

カスタマイズ例については、裏面の活用事例を参照ください。

裏面で
活用事例紹介



EazyTouch

テレビ会議端末操作タブレットソフトウェア

活用事例紹介

EazyTouch はよりよいテレビ会議環境構築のために、様々なお客様にお役立ていただいています。実際にお客様のご要望にあわせてカスタマイズを行い、ご利用いただいている事例をご紹介します。

大手製造業様

ユーザの細やかな要望を EazyTouch と AV 機器の連携で実現

某大手製造業様は距離の離れた拠点間の連携に、長年テレビ会議を利用されてきました。システムの老朽化に伴いリプレイスを検討することになり、導入要件として下記が挙げられました。

- ①BCP 対策の一環として本社から全拠点のテレビ会議をコントロールできるようにしたい。
- ②ユーザが新しいシステムの操作を覚える負荷を減らしたい。
- ③運用をシンプルにするために、会議を主催する拠点がイニシアチブを取って会議を行えるようにしたい。
- ④会議に出席できなかった社員にも、情報共有できるように録画機能をつけたい。

これらの条件はメーカーから提供されているテレビ会議製品だけでは実現することができませんでした。そこで VTV ジャパンは EazyTouch にカスタマイズを加えて対応しました。

- ①は、遠隔からの電源投入と多地点接続時のカメラ操作を AV 機器との連携で可能に。
- ②は、拠点毎に必要なボタンのみを表示して誤操作を防止。
- ③は、会議主催者用の操作ページを新たに追加して拠点の追加や切断を簡単に。
- ④は、管理サーバの録画機能を利用して EazyTouch からボタン一つで録画の開始 / 停止を可能に。

導入時に心配された操作トラブル等もなく導入 1 年が経ち、現在では月 200 件の会議が実施され、拠点間のコミュニケーション活性化に役立っています。



拠点によって必要のないボタンを削除



会議主催者には拠点の状況が確認できる画面を用意

環境に合わせてカスタマイズ

とある医療系独立法人様では全国に散らばる拠点を接続して、医師同士の打ち合わせを行うためテレビ会議システムを導入しました。その際に会議に集中できるように、簡単に操作を行える EazyTouch が検討されましたが、ご希望に沿うようにカスタマイズが必要になりました。

管理者をおきたくないという要望に応えるために、サーバを利用しない運用を実現し、ネットワークポリシー上、ワイヤレス LAN が利用できない拠点へも導入できるように有線 LAN でも問題なく利用できる環境を構築するなど、環境やニーズの変化に合わせて対応しました。



共有アドレス帳のみを利用

EazyTouch コントロールサーバの共有アドレス帳の利便性に注目されて、操作用タブレットを利用せずにコントロールサーバのみを利用されるお客様もいらっしゃいます。

某団体法人様では全国の支部に 50 拠点を越える端末をお持ちで、新規拠点追加や IP アドレス変更の度に全ての拠点のアドレス帳を編集する必要があり、頭を痛めていらっしゃいました。そこで EazyTouch のコントロールサーバの共有アドレス帳機能を利用することをご提案しました。サーバのデータを編集するだけで全拠点のアドレス帳に反映できることを確認され、コントロールサーバのみを導入されました。



裏面で
特長をご紹介